

2024年版

実 施 要 項

2 級

市民の社会参加を支える

チカラ

ボランティア
コーディネーションりよく
検定

カ

検定日	回	開催地	申込締切
10月27日（日）	第28回	大阪	9月30日（月）
11月17日（日）	第29回	東京	10月21日（月）
		福岡	

人々の価値観が多様化し、社会的な機能もより専門分化する現代。

私たちの暮らしや仕事にとって“コーディネーション”の機能が不可欠になってきています。

市民の自発的な社会参加と継続的な活動を支える“ボランティアコーディネーション”のはたらきもその一つです。単にボランティアしたい人と受け入れたいニーズをつなぐという狭い意味だけでの機能ではなく、一人ひとりが市民社会づくりに参加し、さまざまな社会課題に対して、その力と可能性を発揮できるように支える役割は、いま私たちが暮らす社会のあらゆる場面で求められています。

私たち日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）では、この“市民の社会参加を支えるチカラ”と“異なる人・組織の協働を支えるチカラ”を「ボランティアコーディネーションカ（りよく）」と名づけ、次のように定義しました。

ボランティア活動を理解し意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整することで、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする力

ボランティアコーディネーションカ検定は、ボランティア活動やコーディネーションの経験がある皆さんに幅広く受けてほしい「3級」から始まり、実務を進める上でも役立つ「2級」、さらに包括的なボランティアコーディネーションの実践を目指す「1級」と、3つのレベルを設定しています。



主催：認定特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会

受験資格

下記の3つのすべてに該当する方 ※年齢は問いません

- 3級検定に合格している
- これまでに地域社会、組織（施設・機関・NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある
業務に限らず、ボランティアな活動におけるコーディネーション経験でも含みます。申込時には具体的に記載してください。
- 2級検定直前研修を修了している

検定日までに直前研修の講義動画を視聴し、検定同日に実施する直前研修の演習を受講することが検定試験受験の要件となります。ただし、過去に実施された同直前研修を受講した場合には、希望により免除されます。

日時・会場

第28回検定日 直前研修（講義） 検定日までに動画を視聴
（演習） 2024年10月27日（日） 9:15～15:05
検定試験 2024年10月27日（日） 15:30～17:00
会場 大阪：大阪府社会福祉会館（大阪市中央区谷町7-4-15）

第29回検定日 直前研修（講義） 検定日までに動画を視聴
（演習） 2024年11月17日（日） 9:15～15:05
検定試験： 2024年11月17日（日） 15:30～17:00
会場 東京：大学生協杉並会館（杉並区和田3-30-22）
福岡：大野城市総合福祉センター（大野城市曙町2-3-2）

- 講義動画は、試験2週間前を目途に視聴案内。直前研修（演習）は検定試験と同一会場で実施します。

直前研修・テキスト（2級サブテキスト中心の研修です）

- 研修カリキュラム（8.5時間）
 - ボランティアの捉え方
 - 社会の動きとボランティア
 - ボランティアコーディネーションの視点（グループ演習を含む）
 - ボランティアコーディネーションの実際（グループ演習を含む）
- サブテキストの内容は一部研修で取り扱わず自己学習のみとなる部分があります。

出題程度・合格基準

出題形式・問題数	検定時間	出題程度	合格基準
択一式筆記およびケーススタディ 33問	90分	2級検定サブテキストおよび公式テキストから90%以上を出題	70点以上 (100点満点)

受験料

直前研修受講料 15,400円（税抜14,000円）
※サブテキスト代込
検定試験料 6,600円（税抜 6,000円）

一般価格（税込）22,000円

JVCA正会員ならば 19,800円

※直前研修免除の場合の料金は、検定試験料のみになります。

定員

第28回 大阪：24人 第29回 東京：32人 福岡：24人

U30（アンダーサーティ）応援プログラムのご案内

個人の立場で「2級検定」を受験される30歳以下（1994年1月1日以降に生まれた方）の希望者には、直前研修の「受講料」に対して、最大15人まで、1万円を補助いたします。詳細は、本検定のWEBサイトをご覧ください。抱負を添えて所定の申込みを行ってください。【先着順】です。定員に達し次第、締め切ります。

インターネットによる申込み

- 日本ボランティアコーディネーター協会のWEBサイトからアクセス



https://jvca2001.org/vco_kentei/



- 申込フォームに必要事項を入力し、送信する。

合格者の声

東日本大震災の津波被災地を八戸から千葉は犬吠崎まで約170万歩をかけて踏破しました。その際に各地で多くの大学生ボランティアの活動に触れる機会がありました。その時期は主にコミュニティの再生の時期でしたが地域の方々との交流から生まれるその双方への効果に感銘を受けました。両親は元より東北人でしたので「いつかは東北で…」という想いが断ち切れず数年前より地域おこし協力隊として宮城県に移住。そこで「大学生と共に目指す地域復興」を標榜して参りました。

そして活動の中でこの検定を知り、試験のタイミングもよく同年に3級、2級と進むことができました。仙台界限10大学と連携し各地の地域活動へ実際にコーディネーションをする機会も増え、活動の現場に活かすことができいております。今後も身に着けた知識を活かし幅広い地域復興を目指していきたいと思っております。



宮城県村田町地域おこし協力隊
一般社団法人元気座 代表理事
大平 直也 さん

受験の流れ

申込み

（申込締切日）

2級 第28回： 9月30日（月）
第29回： 10月21日（月）

※定員に達した場合はその時点で締切となります。

入金

2級 第28回： 10月 7日（月）
第29回： 10月28日（月）

申込書を受理後、1週間以内に入金手続きについてのご案内をEメールでお送りします。

受験票
テキスト

入金確認をもって正式な申込みとし、おおむね2週間以内に受験票とテキスト、当日のご案内を発送します。

直前研修
受講

2級 第28回： 10月27日（日）
第29回： 11月17日（日）

※オンデマンド受講は、試験2週間前を目途に視聴案内をします。
※再受験の方や以前に直前研修を受講済みの方は、希望により受講が免除されます。

検定試験

2級 第28回： 10月27日（日）
第29回： 11月17日（日）

合否判定
結果通知

検定試験委員会において合否を判定し、1カ月以内に受験者に文書（郵便）で通知します。合格者には各級の『ボランティアコーディネーション力検定合格証』を発行します。

<ボランティアコーディネーション力検定試験委員会>

委員長 妻鹿ふみ子（東海大学）
副委員長 栗木 梨衣（一般財団法人中部圏地域創造ファンド）
委員 青山 織衣（岸和田シティプロモーション推進協議会）
足立 陽子（淑徳大学 地域共生センター）
若井 俊宗（とちぎユースパートナーズネットワーク）

上田 英司（日本NPOセンター）
小原 宗一（北区社会福祉協議会）
鹿住 貴之（JUON(樹恩) NETWORK）
唐木理恵子（袖フークス）
公文真理亜（北九州市社会福祉協議会）

後藤麻理子（日本ボランティアコーディネーター協会）
佐藤 匠（至学館大学）
垂井加寿恵（神戸学院大学 ボランティア活動支援室）
土崎 雄祐（とちぎ市民協働研究会）
疋田 恵子（杉並区社会福祉協議会）
三田 響子（座間市社会福祉協議会）

3 注意事項

申込み上の注意点

- ① お身体の不自由な方で、受験方法に配慮が必要な場合は、検定事務局まで事前にご連絡ください（お早目をお願いします）。
- ② 以下の場合は受験することができません。
 - ・ 申込期日を過ぎて申込書が検定事務局に到着した場合。
 - ・ 申込書が受付期間内に到着しても、書類または手続きに不備があった場合。
 - ・ 申込みに際し、所定の方法で申込みをされていない場合。

受験票・2級検定テキスト・研修動画

6月中旬以降に受験票およびテキストの送付を開始いたします。入金後2週間以上経過しても受験票が届かない場合や記載事項に誤りがあった場合は、必ず事務局へお問い合わせください。

事前研修動画（講義）および事前課題については、7月末頃までにお送りする予定です。

当日の注意点

- ・ 直前研修は講義動画を事前に視聴してきた前提で進めます。冒頭から演習を中心にグループワーク形式で行いますのでご承知おきください。
- ・ 1日目・2日目ともにグループに分かれますので、名刺をお持ちになることをお勧めします。

受験上の注意

- ① 次に該当する行為をした受験者は、その場で退場・失格とし、答案の採点はいたしません。また、不正行為等が合格認定後に判明した場合は、合格を取り消しとし、以後の受験をお断りする場合があります。
 - ・ 本人以外が受験する。
 - ・ 他の受験者に迷惑をかける。
 - ・ 試験監督の指示に従わない。
 - ・ 携帯電話やPHSなどを使用する（時計として使用することもできません）。
 - ・ 録音機器、カメラ、辞書、テキストなどを使用する。
 - ・ その他不正行為。

- ② 受験後の試験問題の漏洩も不正行為とみなしますのでご注意ください。
- ③ 受験者の解答は公表いたしません。また、問題に関する質問にはお答えできません。

キャンセル

- ① ご事情により受験料を期限内にお支払いいただけない場合は、事前に事務局までご連絡ください。
- ② 受験料振込後の申込みの取り消し、受験料・検定料の払い戻し、次回以降の検定試験への繰り越しは、主催者側に非がある場合を除いて、一切行いませんのでご了承ください。
- ③ 感染症等に罹患されたことによる取り消しについても②と同様の対応となります。
- ④ 荒天や自然災害、感染症の拡大等の事情によりやむなく検定及び直前研修を中止する場合にはテキスト代および事務手数料を差し引いた額を受験者が指定する口座に返金します。
- ⑤ お申込み後にキャンセルされる場合は（入金前であっても）必ずご連絡ください。

合否結果発表

試験後1カ月を経過しても検定結果が届かない場合は、検定事務局へお問い合わせください。合否・採点・試験問題の内容に関するお問い合わせには一切お答えできません。

個人情報の取り扱いについて

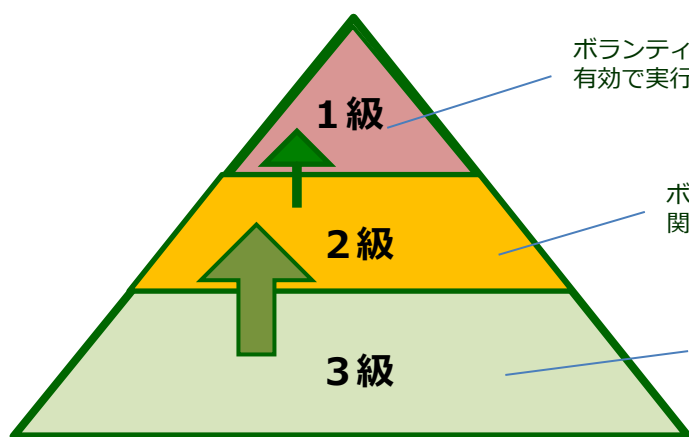
検定事務局は、当該検定試験の申込みによって取得した個人情報（住所、氏名、生まれ年、性別等、個人を識別、特定できるもの）を以下の目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

- ・ 受験票や試験結果の発送等、検定試験や研修に関わる連絡
- ・ 受験者の受験履歴の管理
- ・ 合格者名簿の管理

また、これ以外の目的に利用する場合は、ご本人（受験者）の同意を得た上で行います。

本検定試験をお申込みされた方は、この実施要項に記載されている全ての事項について、同意しているものとみなします。

ボランティアコーディネーション力検定システムの全体像



1級 ボランティアコーディネーション力を使って社会課題解決に向けた有効で実行可能な方策を提案できる力を身につけている

2級 ボランティアならびにボランティアコーディネーションに関する知識を実務に応用する力を身につけている

3級 ボランティアならびにボランティアコーディネーションに関する基礎的な知識を理解できている

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）

2001年に設立。ボランティアコーディネーターの専門性を確立し、社会的な認知を得るためのさまざまな取り組みをしてきました。毎年開催している全国ボランティアコーディネーター研究集会や、基礎研修・ステップアップ研修の実施、全国への講師派遣、出版などを通して、多様な分野のボランティアコーディネーションに携わるスタッフたちに学びとネットワークづくりの場を提供しています。



ボランティアコーディネーション力検定事務局(JVCA内)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-13 末よしビル別館30D

TEL : 03-5225-1545 FAX : 03-5225-1563

<https://www.jvca2001.org/> Eメール : kentei@jvca2001.org